

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年1月31日

上場会社名 株式会社ZOZO 上場取引所 東
 コード番号 3092 URL https://corp.zozo.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 澤田 宏太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼CFO (氏名) 柳澤 孝旨 (TEL) 043(213)5171
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	136,467	10.3	44,635	15.1	44,872	15.8	31,213	17.1
2022年3月期第3四半期	123,778	14.1	38,779	14.8	38,756	14.4	26,653	12.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 31,268百万円(16.8%) 2022年3月期第3四半期 26,762百万円(12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	104.10	—
2022年3月期第3四半期	88.87	88.87

(注) 2023年3月期第3四半期(連結累計期間)の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	143,760	68,507	47.5
2022年3月期	127,276	55,099	43.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 68,350百万円 2022年3月期 54,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.00	—	36.00	58.00
2023年3月期	—	24.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	41.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	181,300	9.1	55,000	10.8	55,200	11.2	38,400	11.3	128.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	311,644,285株	2022年3月期	311,644,285株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	11,787,504株	2022年3月期	11,840,467株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	299,831,863株	2022年3月期3Q	299,918,547株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2023年1月31日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

[表1] 前年同期比

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同期比
商品取扱高	375,506 (109.9%)	406,497 (109.3%)	8.3%
商品取扱高(その他商品取扱高除く)	341,587 (100.0%)	372,022 (100.0%)	8.9%
売上高	123,778 (36.2%)	136,467 (36.7%)	10.3%
売上総利益	116,620 (34.1%)	127,660 (34.3%)	9.5%
営業利益	38,779 (11.4%)	44,635 (12.0%)	15.1%
経常利益	38,756 (11.3%)	44,872 (12.1%)	15.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,653 (7.8%)	31,213 (8.4%)	17.1%

()内は商品取扱高(その他商品取扱高除く)に対する割合です。

当社グループは、「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。」という企業理念のもと、日本最大級のファッションECサイト「ZOZOTOWN」、及びファッションメディア「WEAR」の運営を中心に事業活動を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の落ち着いたに伴う外出機会の増加ならびに洋服に対する需要の増加により、アパレル業界が活気づいた市況となりました。この状況下で当社グループは、ZOZOTOWNにおいてはユニークユーザー数拡大及びコンバージョンレート(ユニークユーザーの購買率)向上を目指し、ユーザーとブランド双方にとって魅力的なサイト作りに一層注力してまいりました。具体的には、2022年5月・9月・11月にセールイベント「ZOWEEK」の実施(2022年5月14日～23日の10日間、同年9月13日～19日及び22日～25日の11日間、同年11月3日～13日及び17日～23日の18日間)ならびに夏の本セール開始期間にはTVCMを放送し集客を強化する等、ZOZOTOWNにおける販売力の最大化に取り組みました。加えて、引き続き多様化するユーザーニーズに対応できるよう積極的に幅広いジャンルの新規ブランドの出店も進めてまいりました。

また、カテゴリー強化の取り組みとしては、コスメカテゴリー強化を図る「ZOZOCOSME」に注力しております。ZOZOCOSMEは2022年12月末時点において国内外の700以上のコスメブランドを取り扱っております。今後も、商品取扱高拡大のために新規ブランド出店を積極的に継続してまいります。また、高精度で肌の色を計測できるツール「ZOZGLASS」を用いて、計測した肌の色に最も近いファンデーションならびにコンシーラーの色を提案する購入アシスト機能を実装し、ユーザーに新しい購入体験を提供しております。

Yahoo!ショッピング(2022年10月にPayPayモールを吸収し統合)については、前連結会計年度までに獲得した顧客の定着や、モールを運営するヤフー(株)による販促施策投下の効果で、売上を伸ばしております。

BtoB事業については、前第4四半期連結会計期間に商品取扱高の多くを占めるブランドの支援撤退があったものの、支援を継続しているブランド各社においては自社ECサイト活用の積極化が続いている状況です。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における商品取扱高は406,497百万円(前年同期比8.3%増)、その他商品取扱高を除いた商品取扱高は372,022百万円(同8.9%増)となりました。売上高は136,467百万円(同10.3%増)、売上総利益は127,660百万円(同9.5%増)となりました。売上総利益の商品取扱高(その他商品取扱高除く)に対する割合(粗利率)は34.3%となり、前年同期と比較して0.2ポイント上昇いたしました。

売上高については、商品取扱高に対する売上高比率が高い買取・製造販売とUSED販売、広告事業の成長ならびに商品取扱高に対する売上高比率が低いBtoB事業の商品取扱高における構成比が減少した事が主な要因となり、前年同期比で商品取扱高(その他商品取扱高除く)の成長率を上回る伸び率となりました。

粗利率上昇の主な要因は、売上高について記載の通り、買取・製造販売とUSED販売、広告事業の成長ならびに粗利率の低いBtoB事業の商品取扱高が商品取扱高(その他商品取扱高除く)における構成比が減少した事になります。

販売費及び一般管理費は83,024百万円(前年同期比6.7%増)、商品取扱高(その他商品取扱高除く)に対する割合は22.3%と前年同期と比較して0.5ポイント低下しております。前年同期比で販管費率が低下している主な理由は以下のとおりです。なお、以下の対商品取扱高比は、各販管費項目を商品取扱高(その他商品取扱高除く)で除し

た結果となります。

・上昇(悪化)要因

WEB上のCMや広告の投下量増加に伴い広告宣伝費(対商品取扱高)が0.2ポイント上昇。

・低下(改善)要因

- ① 物流拠点内の作業効率向上等により、人件費のうち物流関連費(対商品取扱高)が0.4ポイント低下。
- ② 出荷単価が前期実績を上回った事ならびに商品配送時の梱包資材のサイズ適正化により、荷造運賃(対商品取扱高)が0.3ポイント低下。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は44,635百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益率は対商品取扱高(その他商品取扱高除く)比12.0%と前年同期と比較して0.6ポイント上昇しております。また、経常利益は44,872百万円(同15.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31,213百万円(同17.1%増)となりました。

なお、当社グループはEC事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、単一セグメント内の各事業区分の業績を以下のとおり示しております。

各事業別の業績は、以下のとおりです。

[表2] 事業別前年同期比

事業別	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			取扱高 前年同期比 (%)	売上高 前年同期比 (%)
	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)		
ZOZOTOWN事業	289,572	77.1	91,461	324,498	79.8	101,909	12.1	11.4
(買取・製造販売)	2,147	0.6	2,112	3,564	0.9	3,458	65.9	63.7
(受託販売)	277,644	73.9	79,731	309,188	76.0	86,949	11.4	9.1
(USED販売)	9,779	2.6	9,616	11,746	2.9	11,500	20.1	19.6
Yahoo!ショッピング	31,568	8.5	9,199	35,668	8.8	10,482	13.0	13.9
BtoB事業	20,447	5.4	3,805	11,855	2.9	1,950	△42.0	△48.7
広告事業	—	—	4,636	—	—	5,711	—	23.2
その他除く 小計	341,587	91.0	109,102	372,022	91.5	120,053	8.9	10.0
その他	33,919	9.0	14,675	34,475	8.5	16,413	1.6	11.8
合計	375,506	100.0	123,778	406,497	100.0	136,467	8.3	10.3

① ZOZOTOWN事業

ZOZOTOWN事業は、「買取・製造販売」「受託販売」「USED販売」の3つの事業形態で構成されております。「買取・製造販売」は当社グループが仕入れを行い、在庫リスクを負担し販売を行う事業形態になります。各ブランドからファッション商材を仕入れる形態と、MS(マルチサイズ)等、当社グループが商材を発注する形態がこちらに該当します。「受託販売」は各ブランドの商品を受託在庫として預かり、受託販売を行っております。「USED販売」は主に個人ユーザー等から中古ファッション商材を買取り、販売を行っております。新品商品購入促進のための付加価値サービスと位置付けております。

当社では、ZOZOTOWN事業を持続的に成長させていくためには「購入者数の拡大」及び「ファッション消費におけるZOZOTOWN利用率上昇」が重要なファクターであると認識しております。そのために、ユーザーとブランド双方にとって魅力的なサイト作りに取り組んでおります。

なお、ZOZOTOWN事業に係る主なKPIの推移は以下のとおりです。

(ショップ数等)

[表3] ショップ数、ブランド数の推移

	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
ZOZOTOWN出店ショップ数(注)1	1,488	1,502	1,516	1,510	1,523	1,532	1,554	—
内) 買取・製造販売(注)2	20	24	24	24	25	27	28	—
受託販売	1,468	1,478	1,492	1,486	1,498	1,505	1,526	—
ブランド数(注)1、2	8,490	8,451	8,481	8,433	8,512	8,455	8,545	—

(注) 1 四半期会計期間末日時点の数値を使用しております。

2 プライベートブランド「ZOZO」及び「マルチサイズ」は含んでおりません。

当第3四半期連結会計期間に新規出店したショップ数は35ショップ(純増22ショップ)となりました。主な新規出店ショップはアメリカ発のワークウェアブランド「UNIVERSAL OVERALL」、フランス発ラグジュアリーバッグブランド「LONGCHAMP」、オーストラリア発、世界で愛されるスキンケアブランド「Aesop」です。

(年間購入者数)

[表4] 年間購入者数の推移

	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
年間購入者数(注)2	9,730,162	9,890,784	10,103,351	10,418,331	10,619,934	10,859,876	11,211,383	—
(前年同期比)	1,067,602	1,085,629	963,555	932,662	889,772	969,092	1,108,032	—
(前四半期比)	244,493	160,622	212,567	314,980	201,603	239,942	351,507	—
アクティブ会員数(注)3	8,367,073	8,507,997	8,711,879	9,043,194	9,269,080	9,545,087	9,935,769	—
(前年同期比)	1,143,320	1,073,468	937,939	905,465	902,007	1,037,090	1,223,890	—
(前四半期比)	229,344	140,924	203,882	331,315	225,886	276,007	390,682	—
ゲスト購入者数	1,363,089	1,382,787	1,391,472	1,375,137	1,350,854	1,314,789	1,275,614	—
(前年同期比)	△75,718	12,161	25,616	27,197	△12,235	△67,998	△115,858	—
(前四半期比)	15,149	19,698	8,685	△16,335	△24,283	△36,065	△39,175	—

(注) 1 集計期間は会計期間末日以前の直近1年間としております。

2 年間購入者数は過去1年以内に1回以上購入したアクティブ会員数とゲスト購入者数の合計です。

3 アクティブ会員数は過去1年以内に1回以上購入した会員数になります。

4 「Yahoo!ショッピング」の購入者は含んでおりません。

当第3四半期連結会計期間において、アクティブ会員数が前年同期比及び前四半期比でそれぞれ増加したことにより、年間購入者数も増加いたしました。アクティブ会員数の順調な増加は、2022年5月・9月・11月に実施したZOZOWEEK開催期間ならびに同年6月開始の「夏本セール」期間のTVCM放送ならびにWEB上の広告等により、集客を強化したことが要因です。

(年間購入金額及び年間購入点数)

[表5] 年間購入金額、年間購入点数の推移

	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
年間購入金額(全体) (注)1、2、3、4	42,363	42,343	42,549	42,403	42,559	42,401	42,331	—
(前年同期比)	△6.1%	△4.5%	△2.9%	△1.0%	0.5%	0.1%	△0.5%	—
(前四半期比)	△1.1%	△0.0%	0.5%	△0.3%	0.4%	△0.4%	△0.2%	—
年間購入点数(全体) (注)1、2、3	11.4	11.5	11.6	11.6	11.6	11.4	11.1	—
(前年同期比)	△3.6%	△2.0%	△0.7%	0.1%	1.5%	△1.4%	△4.5%	—
(前四半期比)	△1.3%	1.0%	0.9%	△0.4%	0.0%	△1.8%	△2.3%	—
年間購入金額(既存会員) (注)1、2、3、4	49,257	49,037	49,064	49,254	49,407	49,331	49,336	—
(前年同期比)	△5.6%	△4.8%	△3.9%	△1.8%	0.3%	0.6%	0.6%	—
(前四半期比)	△1.8%	△0.4%	0.1%	0.4%	0.3%	△0.2%	0.0%	—
年間購入点数(既存会員) (注)1、2、3	13.2	13.3	13.4	13.4	13.4	13.2	12.9	—
(前年同期比)	△2.8%	△2.2%	△1.7%	△0.7%	1.3%	△0.9%	△3.4%	—
(前四半期比)	△2.2%	0.3%	0.8%	0.4%	△0.3%	△1.9%	△1.8%	—

(注) 1 集計期間は会計期間末日以前の直近1年間としております。

2 アクティブ会員1人当たりの指標となっております。

3 「Yahoo!ショッピング」の購入者は含んでおりません。

4 円単位となっております。

当第3四半期連結会計期間において、全体の年間購入金額が前年同期比・前四半期比で減少しておりますが、新規会員の獲得状況が良好に推移している事(新規会員は全体平均よりも年間購入金額が低い)が主な要因です。また、全体の年間購入点数が前年同期比・前四半期比で減少している要因は、新規会員の獲得状況が良好に推移している事(新規会員は全体平均よりも年間購入点数が低い)に加え、商品単価の上昇に伴う購入点数の減少が主な要因です。既存会員の年間購入金額は前年同期比・前四半期比でほぼ横ばいに推移している一方、年間購入点数が減少している要因は、商品単価の上昇に伴い複数商品を同時に注文する合わせ買いの割合が減少しているためです。

(平均商品単価等)

[表6] 平均商品単価、平均出荷単価、1注文あたり購入点数、出荷件数の推移

	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
平均商品単価 (注)1、2、3	3,490	3,264	4,167	3,752	3,552	3,487	4,438	—
(前年同期比)	1.4%	△3.5%	△3.1%	0.1%	1.8%	6.8%	6.5%	—
平均出荷単価 (注)1、2、3	7,501	7,346	8,592	7,974	7,699	7,566	8,961	—
(前年同期比)	1.2%	△0.3%	0.9%	△0.2%	2.6%	3.0%	4.3%	—
1注文あたり購入点数 (注)1、3	2.15	2.25	2.06	2.13	2.17	2.17	2.02	—
(前年同期比)	△0.1%	3.2%	4.1%	△0.3%	0.9%	△3.6%	△2.1%	—
出荷件数(注)1、3	12,085,053	11,816,663	13,049,762	12,800,550	13,123,988	12,742,183	14,178,195	—
(前年同期比)	5.3%	7.3%	9.1%	14.7%	8.6%	7.8%	8.6%	—

(注) 1 四半期会計期間の数値を使用しております。

2 円単位となっております。

3 「Yahoo!ショッピング」は含んでおりません。

当第3四半期連結会計期間の平均商品単価につきましては、前年同期比で増加いたしました。一部の商品の定価の上昇ならびにセール商材の割引率が減少した事が主な要因です。平均出荷単価については平均商品単価が増加した影響が、1注文あたりの購入点数が減少した影響を上回った事によって前年同期比で増加しております。

i. 買取・製造販売

当第3四半期連結累計期間の商品取扱高は3,564百万円（前年同期比65.9%増）、商品取扱高に占める割合は0.9%（前年同期実績0.6%）となりました。売上高は3,458百万円（前年同期比63.7%増）となりました。2022年12月末現在、買取・製造販売のZOZOTOWN出店ショップは28ショップ（2022年9月末27ショップ）を運営しております。

ii. 受託販売

当第3四半期連結累計期間の商品取扱高は309,188百万円（前年同期比11.4%増）、商品取扱高に占める割合は76.0%（前年同期実績73.9%）となりました。売上高（受託販売手数料）は86,949百万円（前年同期比9.1%増）となりました。2022年12月末現在、受託販売のZOZOTOWN出店ショップは1,526ショップ（2022年9月末1,505ショップ）を運営しております。

iii. USED販売

当第3四半期連結累計期間の商品取扱高は11,746百万円（前年同期比20.1%増）、商品取扱高に占める割合は2.9%（前年同期実績2.6%）となりました。売上高は11,500百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

② Yahoo!ショッピング

ヤフー(株)が運営するオンラインショッピングモール「Yahoo!ショッピング」へZOZOTOWNを出店しております。当第3四半期連結累計期間の商品取扱高は35,668百万円（前年同期比13.0%増）、商品取扱高に占める割合は8.8%（前年同期実績8.5%）となりました。売上高（受託販売手数料）は10,482百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

③ BtoB事業

BtoB事業では、ブランドの自社ECサイトの構築及び運営・物流業務を受託しております。当第3四半期連結累計期間の商品取扱高は11,855百万円（前年同期比42.0%減）、商品取扱高に占める割合は2.9%（前年同期実績5.4%）となりました。売上高（受託販売手数料）は1,950百万円（前年同期比48.7%減）となりました。2022年12月末現在、受託サイト数は37サイト（2022年9月末39サイト）となっております。

④ 広告事業

広告事業は、ZOZOTOWN及びWEARのユーザーリーチ基盤を活用し、主に取引先ブランド各社に広告枠を提供し、広告収入を得る事業形態となります。当第3四半期連結累計期間の売上高は5,711百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

WEARについては、引き続きユーザーの拡大及びコンテンツの拡充に注力しており、2022年12月末時点のアプリダウンロード数は1,600万件を超え、月間利用者数ともに堅調に推移しております。

⑤ その他

その他商品取扱高には、Yahoo!ショッピングにおけるZOZOTOWN店を除いたファッションカテゴリーストアのうち、ZOZOオプション（当社提案のもとにYahoo!ショッピング内で実施する特集企画への参加等の営業支援の恩恵を受ける事が出来るサービス）の契約を結んだストアの流通総額、当社連結子会社の自社ECサイトにおける流通総額、ZOZOTOWNからオフライン店舗への送客をする仕組み「ZOZOMO」を経由した流通総額（前第4四半期連結会計期間より計上）及び米国で有料販売をしている「ZOSUIT」の流通総額を計上しております。当第3四半期連結累計期間のその他商品取扱高は34,475百万円、商品取扱高に占める割合は8.5%（前年同期実績9.0%）となりました。その他売上高には、ZOZOTOWN事業に付随した事業の売上（送料収入、決済手数料収入等）及び前述のその他商品取扱高に関連した売上等が計上されており、当第3四半期連結累計期間のその他売上高は16,413百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	増減率
総資産	127,276	143,760	13.0%
負債	72,177	75,253	4.3%
純資産	55,099	68,507	24.3%

(総資産)

総資産については、前連結会計年度末に比べ16,483百万円増加（前連結会計年度末比13.0%増）し、143,760百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ13,387百万円増加（同13.1%増）し、115,692百万円となりました。主な増加要因としては、売掛金の増加8,008百万円、有価証券の増加5,000百万円、商品及び製品の増加1,040百万円などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,096百万円増加（同12.4%増）し、28,067百万円となりました。主な増減要因としては、有形固定資産の増加5,506百万円、投資その他の資産の減少2,367百万円などによるものであります。

(負債)

負債については、前連結会計年度末に比べ3,075百万円増加（前連結会計年度末比4.3%増）し、75,253百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,506百万円増加（同3.8%増）し、68,678百万円となりました。主な増減要因としては、受託販売預り金の増加6,324百万円、未払法人税等の減少3,514百万円、賞与引当金の減少1,428百万円などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ569百万円増加（同9.5%増）し、6,575百万円となりました。主な増加要因としては、退職給付に係る負債の増加393百万円などによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べ13,407百万円増加（前連結会計年度末比24.3%増）し、68,507百万円となりました。主な増減要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加31,213百万円、剰余金の配当による減少17,989百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年4月27日公表の予想を修正いたしました。

詳細は、本日別途公表いたしました「2023年3月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,520	66,018
売掛金	30,609	38,618
有価証券	—	5,000
商品及び製品	2,060	3,101
原材料及び貯蔵品	27	48
その他	4,086	2,906
流動資産合計	102,305	115,692
固定資産		
有形固定資産	11,284	16,790
無形固定資産		
のれん	1,796	1,852
その他	824	725
無形固定資産合計	2,621	2,578
投資その他の資産	11,065	8,698
固定資産合計	24,971	28,067
資産合計	127,276	143,760
負債の部		
流動負債		
買掛金	373	607
受託販売預り金	23,447	29,772
短期借入金	20,200	20,400
未払法人税等	8,259	4,745
賞与引当金	1,726	297
役員賞与引当金	59	58
事業整理損失引当金	231	—
その他	11,873	12,797
流動負債合計	66,172	68,678
固定負債		
退職給付に係る負債	3,631	4,025
資産除去債務	2,274	2,280
その他	98	269
固定負債合計	6,005	6,575
負債合計	72,177	75,253

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359	1,359
資本剰余金	1,457	1,328
利益剰余金	97,067	110,306
自己株式	△44,784	△44,558
株主資本合計	55,100	68,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	40
繰延ヘッジ損益	—	5
為替換算調整勘定	79	110
退職給付に係る調整累計額	△270	△241
その他の包括利益累計額合計	△168	△85
新株予約権	22	19
非支配株主持分	144	136
純資産合計	55,099	68,507
負債純資産合計	127,276	143,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	123,778	136,467
売上原価	7,158	8,806
売上総利益	116,620	127,660
販売費及び一般管理費	77,841	83,024
営業利益	38,779	44,635
営業外収益		
受取利息	8	6
受取賃借料	214	1
為替差益	—	17
業務支援料	14	8
リサイクル収入	27	26
補助金収入	20	27
ポイント失効益	33	85
貸倒引当金戻入益	—	171
その他	22	30
営業外収益合計	341	375
営業外費用		
支払利息	55	58
貸倒引当金繰入額	5	2
支払賃借料	205	1
支払手数料	17	6
為替差損	3	—
投資事業組合運用損	77	69
営業外費用合計	364	139
経常利益	38,756	44,872
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	10	58
減損損失	55	—
事業整理損失	184	—
特別損失合計	250	58
税金等調整前四半期純利益	38,505	44,813
法人税、住民税及び事業税	11,162	11,256
法人税等調整額	630	2,351
法人税等合計	11,792	13,607
四半期純利益	26,713	31,205
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	59	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,653	31,213

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	26,713	31,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	17
繰延ヘッジ損益	—	5
為替換算調整勘定	25	10
退職給付に係る調整額	21	28
その他の包括利益合計	49	63
四半期包括利益	26,762	31,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,703	31,276
非支配株主に係る四半期包括利益	59	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。